

学 習 日 誌

12月 16日 (金)	講 師	小林 寛さん(座間安全安心推進会) 薬丸 正美さん	
出席者数	55名	記 録 者	9 年 11 班 大西 恵子
講 座 名	(公開) 自主講座 2 ① ナラ枯れのメカニズムとその対策 パートⅡ ② よもやま話その 15 『知床旅情』と北方領土について+α		
プログラム担当者	(公開) 自主講座グループ		
時 間・場 所	13:30 ~15:30	、第一集会室	にて

【学習内容】

① ナラ枯れのメカニズムとその対策 パートⅡ

{マサアタックの脅威} とその対策

マサアタックとは特定の木を集団で攻撃することで、カシナガキクイムシという虫の攻撃がナラ枯れが発生する元凶となっている。昭和30年頃以降、生活の変化により、燃料としてマキが使われなくなり、森林に大木が放置されたためにカシナガの餌食となっていった。

5~7月オスのカシナガが木の幹に穿入しフェロモンを出して仲間を呼び寄せ、菌を植え付け木の導水管を破壊する。水分上昇不能となった木は枯死する。ナラ枯れを放置すると、1本が来年には10本になる可能性がある。また、ナラ枯れは20~30年ため込んでいたCO2を放出するため、地球温暖化が進むことになる。

マサアタックを防止する方法として、5月以前にストレッチフィルムを幹に巻き付けることによってカシナガの穿入を防ぐことができる。

ペットボトルトラップもペットボトルの上部を切り取り糸で何十個も繋げたもので、薬剤等を使わず簡単に作れて捕獲駆除できる有効な方法である。大量に必要なのでペットボトルトラップの製作に協力してほしいとの呼びかけがあった。



② よもやま話その 15 『知床旅情』と北方領土について+α

森繁久彌の作詞作曲、加藤登紀子の歌で、昭和45年に大ヒットした「知床旅情」は「オホーツクの舟唄」という元歌があった。歌詞は知床の冬の厳しさと春の喜びと国後(北方領土)への望郷の思いを表現したもので、倍賞千恵子が力強く情感をたっぷりこめて歌っている。

北方領土は日露和親条約(1855年)以来日本固有の領土で、ロシアに先んじて発見・調査し四島の実効支配権を確立していた。第二次大戦中、ソ連は日ソ中立条約を破り、対日参戦しポツダム宣言受諾後も攻撃を続け北海道の半分まで明け渡すよう要求したという。

最後に、お父様の出征地の事が書かれた2作品の紹介もあり、改めて戦争の悲惨さを想った。

【感想】

- ナラ枯れによる、森や公園の安全を守るために尽力されている小林さんたちに頭が下がります。
- もしロシアが北海道の半分を手にしていたら、薬丸さんは「旭川の壁の北でコサックダンスを踊ったり、カチューシャを歌っていたかも」のジョークに笑えました。